

枝小だより

R 3.1.2.2.3発行 No.10

本校の教育目標「ひとつ」

ひらく～自ら学びを切り拓く～
つながる～知恵と力を合わせる～
ととのえる～自立の力を高める～

2020年3月制定

なぜ、学校の働き方改革が必要なのか!?

校長 青山 天生



「我が国は、『少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少』や『育児や介護との両立等、働く人のニーズの多様化』などの状況に直面しています。『働き方改革』は、働く人個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く人がより良い将来の展望を持てるようにすることを目指しています。【厚生労働省 公式HPより】」

社会的分業が成り立っている我が国では、それぞれの業種において働き方改革が進められています。北海道教育委員会は、学校の働き方改革を「効果的で質の高い教育活動を持続的に行えるよう、教員が心身ともに健康を保ち、誇りとやりがいをもって働くことができる環境の整備」であると押さえ、力を入れて取り組んでいます。

つまり、学校の働き方改革は、「教師の勤務時間を短くして、楽をさせよう」という短絡的なものではなく、子どもたちの未来に責任を果たすため、教師が本来行う業務（＝授業を中心に子どもと向き合い、授業の質の向上に結び付く準備）に専念できるようにする取組です。

しかし、R元年度の調査において道内の半数以上の教師が、規則で定める時間外勤務の上限（月45時間）を超過しており、本校においても、子どもの教育に直接関わりのない業務に時間と労力を費やすなど、改善されない状況が続いてきました。また、子ども一人一人に目を向け、心ざわしい学びを保障する「令和の日本型教育」を進める中で、北海道の教員志願者の減少傾向が続いています（*H29：5559人→R3：4357 約22%減少）。教職への魅力が薄れてきたのか、非常に憂慮すべき状況です。

それでも、教壇に立って奮闘している多くの教師は、教育的愛情や使命感から「子どものためなら、長時間勤務もいとわない。」という想いで一生懸命働いています。しかし、その中で教師が疲弊していくのであれば、それは結果として「子どものため」にはつながりません。教師一人一人が、日々の生活の質や教職人生を豊かにし、人間性や創造性を高めることは、より効果的な教育活動につながります。さらに、教職の魅力が向上し、枝幸町をはじめ、宗谷管内、そして北海道において教師を志す人が広がれば、教育全体の質の底上げや持続性に結び付くという好循環が期待できます。



<本校の取組例>

□勤務時間の客観的な計測・記録 □個々の勤務目標時間の見える化 □学級通信の縮小
□保護者アンケートや緊急連絡の電子化 □ICTの活用 □通知表発行回数の縮小（前後期2回）□諸会議等の縮小・効率化 □家庭訪問の保護者面談等への変更 □運動会や学習発表会等の学校行事の縮小
□共用の教材備品・学校図書・教室の整理 □カール・ザ・スト・スタッフや学習指導員、支援員による業務支援
□コミュニティ・スクールによるご支援 □地域ボランティアの皆様のご協力
□学校閉庁日の設定（夏冬） □PTA活動の見直し □地域行事への教職員の関わりの見直し など

今後も、感染症対策によって工夫した新たな教育のスタイルと関連付けながら、働き方改革を力強く進めます。その中には、かつて実施していた行事をそのまま元の形に戻すことができない場合もあります。子どものために真に必要な、教師が企画・運営を担うべき内容かという議論をして、【継続（従来どおり続ける）】【移管（主催や運営の担当を変える）】【縮小（内容を精選し時間を短くする）】【廃止（発展的に解消する）】という結論を導いていくことになります。

働き方改革は、保護者や地域の皆様のお力添えがなければ実現できません。子どもたちの未来のための取組に、何卒ご理解とご協力をお願いします。（12/10）

5年生総合的な学習の時間 ～幼稚園、保育所の子どもたちと～

12月2日(木)、3日(金)に5年生の子どもたちが総合的な学習の時間の一環として幼稚園と保育所に訪問し、保育体験をしました。

5年生は、この日のために準備し、練習してきた折り紙を教えたり、絵本の読み聞かせをしたりと意欲的に活動していました。年長さんはとても喜んでいたので、絵本の読み聞かせでは、「これも読んで!」と次々と本を持ってきました。

幼稚園、保育所の先生方からは、5年生の頑張りのおかげで声をかけてもらい、大きく成長した姿を見られる良い場面にもなりました。

後日、幼稚園と保育所からお礼の手紙をいただき、5年生は喜びと達成感を感じていたようです。



4年生総合的な学習の時間 ～地域の産業～

4年生の総合的な学習の時間で「枝幸の産業～水産業」について学習しました。

①漁業協同組合の方に来ていただき、ホタテについて学習する。

②岡島の道の駅で枝幸のホタテが使われている商品について調べる。

③ふるさと納税について調べ、返礼品として枝幸のホタテが好評なことを知る。

④枝幸のホタテを使ったお菓子に着目し、「開拓おかき」で有名な「北菓楼」の方とwebでつながり、学習する。



今回の学習を通して4年生は、地元枝幸の新しい発見をし、意欲的に学習を進めることができました。



1月行事予定

*12月29日～1月3日

学校閉庁日

1月			
18日	3学期始業式		
20日	2計測	3年	
21日	2計測	1年	
24日	2計測	2年	
25日	2計測	4年	
26日	2計測	5年	
27日	枝幸中学校新入生説明会		
28日	委員会		
	2計測	6年	

*なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、変更することがあります。

1年間大変お世話になりました。皆様良い年未年始をお過ごしください。

7月21日から枝幸小学校のホームページを開設しています。「学校だより」「教育活動などの様子」等を掲載しています。

<https://esashi-elementary-school.edumap.jp/>